

以下の5問題の中から2問題を選択し、400字以内で解答してください。解答用紙右上に、選択した問題番号を○で囲んでください。

問1 企画・計画分野

自然再生は、本来、広域的な自然環境保全・再生計画の中に位置付けて行われるべきものである。そこで、あなたにとって身近な地域や、あるいはよく知る地域（例えば〇〇市の範囲、△△川の下流域等）を想定したうえで、あなたが関心のある自然再生に関わる事業を1つ例示し、その事業の内容と地域の中で果たす役割について論述しなさい。（400字以内）

問2 設計・設計監理分野

護岸が構造物により整備された人工的な河川や、一部に常時湛水した小規模な解放水面のある河川の遊水地等にも貴重な植物種が生育している場合がある。このような場所で自然再生に関わる事業を実施する場合の留意事項を水生植物、哺乳類、鳥類、両生類、魚類等の特定種を取り上げて論述しなさい。（400字以内）

問3 施工・施工管理分野

2011年の東日本大震災以降、海岸林を再生する動きが活発化している。海岸林を再生するにあたり、適正な基盤形成や樹種選定、そして生物多様性を確保するために必要な配慮事項を論述しなさい。（400字以内）

問4 維持管理分野

都市公園内に存在する里山的な既存樹林地において、草本や花木を育成するために実施した自然再生工事後の維持管理計画を作成するにあたっての留意事項を論述しなさい。（400字以内）

問5 市民活動分野

里山を主体とする公園等において市民参加による植生管理を円滑に進めるためには、生物多様性に配慮することはもちろん、様々な実施主体が実際に運用可能な植生管理計画を立てることが重要である。

例えば、実施主体が「Aグループ：野鳥が好きな主体」、「Bグループ：野草が好きな主体」、「Cグループ：苧り払いや間伐等の林業的な作業が好きな主体」である場合に、植生管理計画を立てるうえで配慮すべき事項について、それぞれの実施主体の主張や立場を考慮したうえで、あなたの考えを論述しなさい。（400字以内）